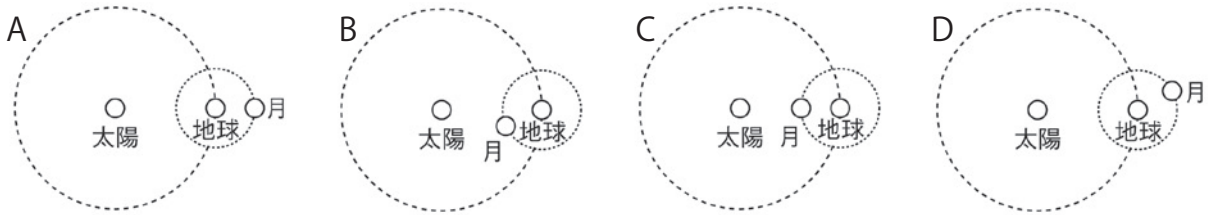


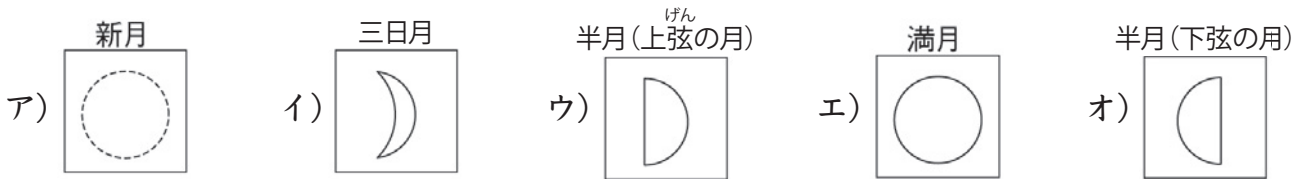
月や惑星の運動と見え方(3)

名前

下の図は、地球、月、太陽の色々な位置関係を模式的に表したものである。以下の問いに答えなさい。



- 日食が起きるときと、月食が起きるときとの位置関係は、それぞれA~Dのうちのどれか。
- 日食が起きるときと、月食が起きるとき月の形として正しいものを下のア~オからそれぞれ選んで記号を書きなさい。



- 月食が起きるのは、月が何の影に入るからか。
- 月がすべて(3)の影に入る月食を何というか。
- 月の一部が(3)の影に入る月食を何というか。
- 皆既日食、部分日食、金環日食の図として正しいものを右のカ~クからそれぞれ選んで記号を書きなさい。



(1)	日食		月食		(2)	日食		月食		(3)	
(4)			(5)		(6)	皆既日食		部分日食		金環日食	

次の文章は、金星と火星の運動と見え方についての説明である。()に当てはまる言葉を○でかこみなさい。

- 夕方、(① 西・東)の空に見える金星を(② 宵の明星・明けの明星)といい、明け方、(③ 西・東)の空に見える金星を(④ 宵の明星・明けの明星)という。
- 望遠鏡を使って地球から金星を観測すると、月と同じように満ち欠けして見える。しかし月と違って、金星は見える大きさがしだいに変化する。金星が地球に近づくほど、見える大きさは(⑤ 大きく・小さく)なり、形が(⑥ 三日月のように細く・満月のように丸く)なる。
- 金星は地球の(⑦ 外側・内側)を公転していて、常に太陽に近い方向にあるため、夕方や明け方にしか見ることができない。
- 火星は地球の(⑧ 外側・内側)を公転しているので、火星の位置が太陽と(⑨ 同じ方向・反対の方向)にあるときは、真夜中でも見ることができる。
- 望遠鏡を使って地球から火星を観測すると、見える(⑩ 大きさ・形)は変化するが、見える(⑪ 大きさ・形)は、ほとんど変化しない。